

令和8年度 悠久会県央支部総会報告

県央支部支部長 熊谷知也（機シH9）

令和8年県央支部総会を5月30日（土）に燕三条ワシントンホテルで開催いたしました。
当日は、寺尾全国理事長、山内工学部長をはじめ多数のご来賓から出席をいただき、また支部の新人6名を交え、総勢65名の参加のもと、活発かつ有意義な会を開催することが出来ました。

ご多忙の中、出席下さいました方々に心より感謝を申し上げます。

支部総会は令和7年度会務報告、会計報告の確認、令和8年度予算について承認をいただいたのち「母校の近況報告」として山内工学部長から講演をいただきました。

ご講演では国際交流「G-DORM」について紹介があり、メコン地域の学生と縦断した留学交流について知りました。

日本の多くの製造業は東南アジアに製造拠点を持っており、この地域の文化を知ること
は、企業発展のためには欠かせないことです。

学生時代からこれら地域の方々と交流ができることは、社会人になった際には即戦力として活躍できることが期待でき、卒業生の一人としては今の新潟大学工学部生がうらやましいと感じました。

当支部は令和11年度の全国総会開催地として立候補しています。

支部役員会では、全国総会を開催することは、さまざまな困難があるとは思いますが、時代とともに環境は変わっているので、過去にとらわれず今の時代に合った全国総会を開催できるよう、やれることを皆さんで協力して準備を進めていくことを確認しています。

今後も支部活動を活性化し、心ひとつに取り組んでいくことを祈念して、支部総会を閉会いたしました。

